



参議院議員

日本共産党 JCP HOPE



ito_gaku 検索

伊藤 岳 ニュースレター

2020年12月18日 NO.14



参議院事務所 〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609
埼玉県事務所 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755
E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

発行：日本共産党国会議員団埼玉事務所

自死した郵便局員に謝罪を！

さいたま新都心郵便局員Aさんの自死事件が2010年12月8日に起きました。Aさんは、配達にかかる時間等を厳しく制限されるなど労働強化されながら、少しでもミスをすると150人以上の職員の前でお立ち台という台に立たされ、上司から大声で叱責され、追及を受けるといったことが日常的に行われていました。精神的に追い詰められたAさんはうつ病を発症し、とうとう郵便局の4階から飛び降りて死亡しました。

伊藤議員は11月26日の総務委員会で「一家の大黒柱であった夫を失ったご遺族に対して、業務災害認定後、会社として面会することも謝罪することもしていない。理由は何なのか？」「ご遺族と面会して職場の改善にいかすべきではないか？」と質問しました。日本郵便、日本郵政両社長とも面会する意向をしめし、職場改善・立て直しにとりくむと答えました。



11月26日総務委員会で質問する伊藤岳参議院議員

新型コロナウイルス対策 医療現場は崩壊寸前

12月9日、伊藤議員は塩川衆院議員や梅村前衆院議員とともに県内病院を訪問。「第3波は高齢の患者が多いのが特徴で、看護師の人手が必要。ギリギリの状態の下、感染者を増やさない対策、Gotoを止めることが大事」「政府の支援策は大病院に偏っている。中小の病院が持たない」などの実態を聞きました。



県内病院にて。右から梅村さえこ比例予定候補、伊藤岳参議院議員、塩川鉄也衆院議員。

必要。ギリギリの状態の下、感染者を増やさない対策、Gotoを止めることが大事」「政府の支援策は大病院に偏っている。中小の病院が持たない」などの実態を聞きました。

「バイトの心配せずに 卒論を書きたい」

青年の切実な声をきく伊藤議員

伊藤議員は12月11日、民青同盟埼玉県委員会が行っているフードパントリー会場を訪問し、青年の実情をききました。

県内大学4年生の女性は母子家庭で下宿暮らし。「母親の仕事が減り、深夜・早朝のバイトをしながら生活費を稼いでいる。コロナで友達とも分断され辛い1年だった。せめて卒論はバイトの心配なしにいいものをつくりたいけれど…」と心情を語ってくれました。伊藤議員は、「学費を半額にして学生が学業に専念できる環境を一刻も早くつくりたい」と答えました。



業者が安心して 「年を越せる」 ように 埼玉東民主商工会を訪問

12月16日、伊藤議員は埼玉東民主商工会を訪問し業者が置かれているきびしい実態・要望をききました。飲食業を営むある業者は、「年末のかき入れ時に昨年の5%まで予約が減ったが、その予約も次々とキャンセルになっている。このままでは3月まで持たない。何とかしてもらいたい」との深刻な訴え。「持続化給付金の追加支給や家賃支援給付金の延長など、民商さんとも力を合わせて実現させたい」と伊藤議員は決意を語りました。



16日、民商会員と懇談する伊藤議員(右奥)